

ひの市議会だより

平成17年
第1回定例会

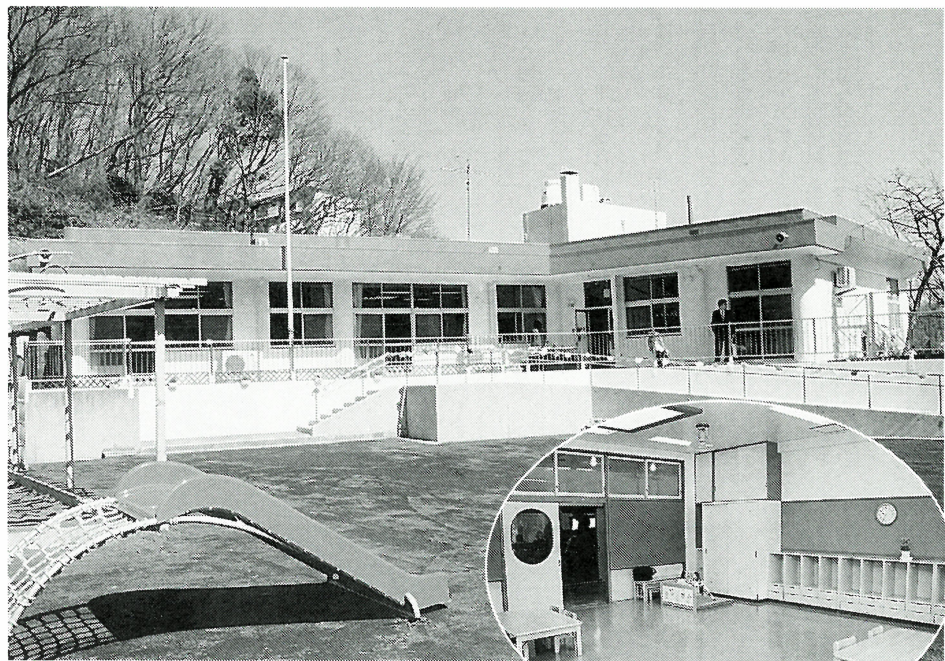
平成17年度予算を可決

行財政改革遂行型予算を基調

平成17年第1回定例会は、3月1日から28日までの28日間にわたって開催し、市長提出議案34件、議員提出議案4件、請願・陳情17件を審議しました(審議結果は6面に掲載)。

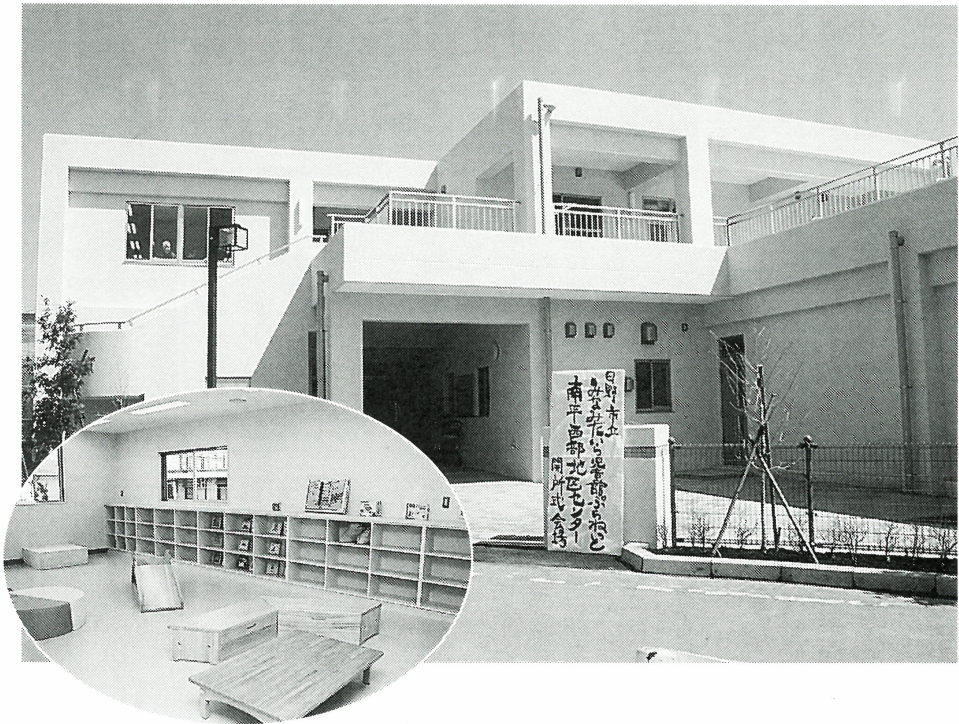
今定例会の初日には、市長より過去4年間の総括を含めた、市政運営の基本と新年度予算の概要について説明がありました。これに対し6名の議員から質疑がありました。

市長提出議案のうち、平成17年度予算案については、一般会計予算及び特別会計予算の2つの特別委員会を設置し、審査を行いました。委員会での審査と同様に、本会議においても「一般会計予算」及び「土地区画整理事業特別会計予算」についてはその賛否が分かれたましたが、採決の結果、4、5面に掲載)。



子育て・子育てを応援

4月にオープンした子育てひろば「あかいやね」(写真上)とみなみだいら児童館「ぷらねっと」・南平西部地区センター(写真下)



主な議案と内容

◎日野市立新選組のふるさと歴史館条例の制定について

この議案は、市民の教養、学術及び文化の向上を図るとともに新選組資料等を調査研究し郷土の地域文化の継承と発展に寄与するため新選組のふるさと歴史館を設置するものです。

◎日野市新選組関連資料収集基金条例の制定について

この議案は、新選組関連資料の収集資金に充てるため基金を設置するものです。

◎日野市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

この議案は、市民生活の安定のための防犯活動等において顕著な功績または模範となる活動を行った者に対する功労として新たに防犯功労を加えるものです。

◎日野市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

この議案は、「行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律」の施行にともない、日野市個人情報保護条例の罰則規定について条文を整理し職員、受託業者による個人情報報の不正利用に対する罰則を強化するものです。

◎日野市一般職の職員の給料月額等の特例に関する条例の制定について

この議案は、給与の抑制措置として一般職員の給料月額を平成17年4月

なお、この基金につきましては、新選組フェスタin日野実行委員会からの指定寄附金1千900万円を基金の原資としています。

◎日野市表彰条例の一部を改正する条例の制定について

この議案は、市民生活の安定のための防犯活動等において顕著な功績または模範となる活動を行った者に対する功労として新たに防犯功労を加えるものです。

◎日野市一般職の職員の給料月額等の特例に関する条例の制定について

この議案は、給与の抑制措置として一般職員の給料月額を平成17年4月

から平成18年3月までの1年間に限り1.5%減額し、合わせて平成17年7月から平成18年6月までの1年間に限り調整手当を11%から12%とする特例措置を講じるものです。

◎日野市立福祉支援センター条例の一部を改正する条例の制定について

この議案は、福祉支援センターに平日準夜子ども応急診療所を開設することにもない福祉支援センターの事業として平日準夜子ども応急診療所を加え合わせて文言を整理するものです。

◎平成16年度日野市一般会計補正予算(第5号)

この議案は、平成16年度一般会計予算の歳入・歳出それぞれに14億8千万2千円を追加し、総額を53億5千32万8千円とするものです。歳入については、市税、国庫支出金、都支出金、財産収入、寄附金、市債などです。歳出については、職員退職手当などの人件費、公共施設建設、環境緑化、学校施設整備をはじめとする各基金への積立金、介護保険及び国民健康保険特別会計への繰出金が

この議案は、同一住居に居住する2人目以降の職員への住居手当を廃止するとともに病院を除く特殊勤務手当の31項目のうち24項目を廃止し7項目を減額するものです。

◎日野市一般職の職員の給料月額等の特例に関する条例の制定について

この議案は、給与の抑制措置として一般職員の給料月額を平成17年4月

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

今定例会において、次の方を、固定資産評価審査委員会委員として任命することに同意しました。

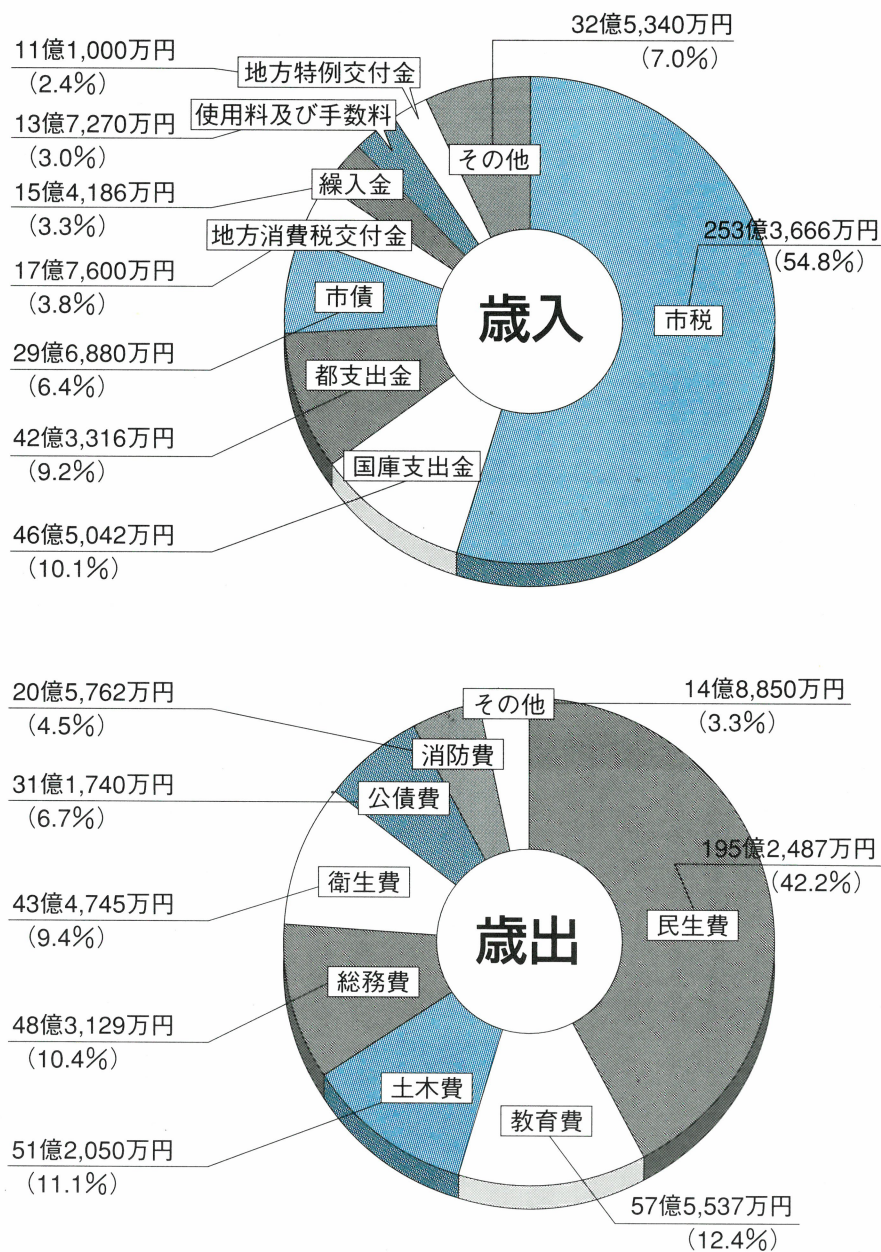
【固定資産評価審査委員会委員】
奥住 日出男(再任) (住所) 日野台2-20-5

平成17年第1回定例会の日程

3月1日	本会議	会期の決定、市政運営の基本について行政報告、諸般の報告、委員会の設置・選任、議案上程、請願上程
3日	本会議(一般質問)	
8日	本会議(一般質問、請願上程)	
9日	本会議(企画総務、市民文教)	
11日	常任委員会(健康福祉、環境まちづくり)	
14日	常任委員会	
15日	一般会計予算特別委員会	
17日	特別会計予算特別委員会	
22日	特別委員会(行財政改革推進、総合体育館建設)	
23日	特別委員会	
28日	本会議	審査報告、議員派遣、議案上程

《平成17年度一般会計予算 構成図》

一般会計予算総額 462億4,300万円(前年度対比7.0%減)



平成17年度予算とその特徴について

～市長の市政運営の基本より抜粋～

平成17年度一般会計予算案は、462億4,300万円で、前年度比7.0%の減となりましたが、前年度は、減税補てん債の借換分としての46億円が含まれており、実質2.5%増となります。

歳入については、市税は、253億3,666万円で、前年度比1.0%の減となり、平成10年度から8年連続のマイナスとなりました。法人市民税は増となりましたが、主に個人市民税、固定資産税の減によるものです。

歳出については、行財政改革遂行型予算を基調にしています。緊急課題として「安全・安心のまちづくり、待機児及び子育て・子育て不安ゼロ、高齢者の待機者及び寝たきりゼロ」施策、商店街の活性化事業、小・中学校施設整備及び特色ある学校づくり、などを最優先施策とした予算となっています。

特別会計につきましては、総額480億2,872万円で前年に比べ1.8%増となりました。土地区画整理事業・下水道事業会計などが減になる一方で、国民健康保険・介護保険会計などの増によるものです。

【17年度の主要事業】

○市民参画による地域防災計画の見直し及びハザードマップの策定

○地域安全・安心対策モデル事業により、地域の自主的な防犯活動を支援。市内安全パトロールを推進

○ひのっ子すくすくプラン、「日野人げんき！」プランをさらに推進し、「待機児ゼロ、子育て・子育て不安ゼロ、高齢者寝たきりゼロ」を目指す

○活力ある日野づくりを目指し、日野宿通り再生事業を推進。観光まちづくり基本計画を策定し、日野市の観光振興、日野ブランドづくりを計画的に進める

○小・中学校の校舎等の改修整備を年次計画に沿って進め、併せて、第一中学校や七生中学校の改築設計等にも取り組む

平成17年度予算の
審議から

一般會計予算
原案可決

平成17年度一般会計予算特別委員会は3月15日・16日・17日の3日間にわたって開催され、奥野倫子委員長、秋山薫副委員長のもと、慎重な審査を行いました。

委員会では予算編成の基本方針や予算執行に当たっての具体的方策、健

全な財政運営の取り組みなどについて、延べ56名の委員から質疑や行政への意見、提言、指摘がありました。

○教師用教科書及び指導書はどういうものか

とISOの関係について

○消防団組織の再編成について

○電子申請、電子調達の今後の予測について

○かしの木荘の運営について見直しを検討しているか

○新エネルギービジョン

3月28日の本会議において修正案が提出されました。修正案は、歳入のうち使用料、繰入金の一部を減額するとともに、

歳出の（仮称）新選組のふること歴史館関連経費及び総合体育館の基本設計委託料を減額し、予備費に組み替えるものです。各会派の代表らによる意見表明の後、採決を行い平成17年度一般会計予算は、賛成多数で原案のとおり可決しました。



◀ 4月20日こオープンした

特別會計予算
原案可決

原案可決

平成17年度特別会計
予算特別委員会は3月22
日に開催し、田原茂委員
長、出沼恵美子副委員長
のもと、慎重な審査を行
いました。

委員会では7つの特別会計ごとに審査を行い、質疑や行政への意見、提言、指摘がありました。

★国民健康保険特別会計
予算総額 127億円

滞納者への今後の対応策について等の質疑がありました。採決の結果全会一致で可決すべきものと決まりました。

原案のとおり可決すべき
ものと決まりました。

★下水道事業特別会計
予算総額

56億796万円

多摩平処理場跡地巡回
警備の業務内容について
等の質疑がありました
採決の結果、全会一致で
可決すべきものと決ま
りました。

★受託水道事業特別会計
— 予算総額 16億80万円 —
特段の質疑、意見はなく、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決まりました。

★老人保健特別会計
予算総額
99億3千489万円

特段の質疑、意見はなく、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決まりました。

（予算総額）
39億5千271万円

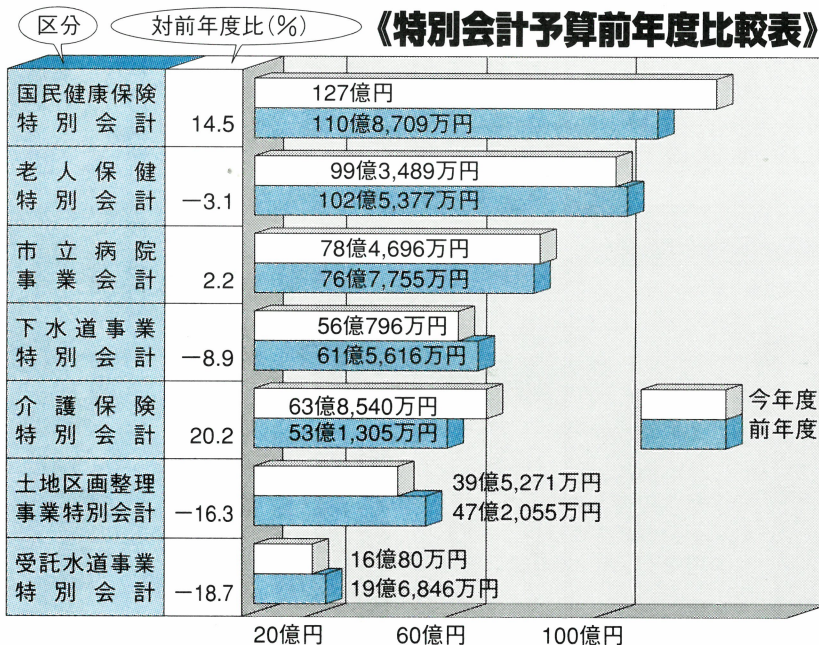
代行買収については予算上明確にしておく必要があるのではないかと
の反対意見がありました
が採決の結果、賛成多数で

★介護保険特別会計
予算総額
63億8千540万円

介護保険料減免制度の実態等について、質疑がありました。採決の結果、全会一致で可決すべ

特別会計予算総額 480億2,872万円(前年度対比 1.8%増)

《特別會計予算前年度比較表》



きものと決まりました。

★市立病院事業会計

予算総額

78億4千696万円

個人情報保護に関する法律の制定に伴い、市立病院としての対応はど

のようにしていくのか等についての質疑がありましたが、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決まりました。

3月28日の本会議では田原委員長による審査報

告のあと、土地区画整理事業特別会計予算についての反対意見がありました。したが、採決の結果、7つの特別会計予算は、すべて原案のとおり可決しました。



平成17年度一般会計予算修正
案反対、原案賛成の立場で意見を
を申し上げます。
歳入全般では、我が会派で毎
回申しております、税収が伸び
ないとき、入りをはかり出るを
制するという考えで、税や使用料
の滞納額の減少について、考え
を確認したところ、徴収員の担
当割の見直しや臨時職員の対応
などが行われていました。この
考えについては、ぜひ市民の平
等性の中で、今後とも毅然とし
た態度をとって頂きたい。
歳出では、公用車を省エネ環
境に優しい天然ガス車等へ切替
えるよう要望します。乳幼児医
療費の助成事業では、子育て事
業支援で、就学までの医療費に
ついて、所得制限なしの対象拡
大を強く要望します。農業ア
クションプランに基づく事業とし
て認定農業者制度の促進や活力
ある農業経営者育成事業などこ

市 民
クラブ

認定農業者制度の促進や活力あ
る農業経営者育成事業等々を評価

これまでなかったものが計上され
具体的に日野の農業を守るため
の施策が盛り込まれており、高
く評価します。災害に備え、地
域防災計画の見直し策定業務、
災害情報システムの強化など促
進して頂きたい。小・中学校の
耐震診断、耐震補強工事は、子
どもたちの安全を守るため計画
的に推進されており、計画が遅
れないように積極的に取り上げ
推進をお願いします。行政評価
についての予算が計上されてい
ます。どういう形で推進される
か期待しています。第1次、第
2次行財政改革は、サービスの
むだや職員の削減など、目で見
てわかる部分の改革が図られた
と考えております。第3次行革
は、行政コストに目を向けてい
ただき、残業時間を含めた仕事
量の把握など定義づけから進め
推進していただくことを申し上げ
市民クラブの意見とします。

平成17年度一般会計予算に原
案反対、修正案可決を求める立
場から意見を申し上げます。
市長は所信表明で市民参画、
環境に優しいまちづくり、経営
感覚の三つの角度から、この4
年間についての総括をなされま
した。第一に、市民参画につい
てです。市民参画は2010年
プランの基本精神にも掲げられ
た市政運営の基本の姿勢です。
市民と行政が情報を共有し、計
画の段階から市民との協働を位
置づけるという考えです。し
かし、この議会で問題となつた
ふるさと博物館の郷土資料館へ
の改変、新選組のふるさと歴史
館の開館準備経過は、馬場市政
の市政運営が市民参画とは縁も
ゆかりもないものであることを
白日のもとにさらしました。次
に、経営感覚についてですが、
予算委員会において特養ホーム
あすなろの問題で、市長にも説

日本共産党
日野市議会
議員団

市内の開発問題は、環境にやさ
しいまちづくりから離れている

明を求めたところです。市長は
経営感覚の立場から、すべての
事業のゼロからの見直しを強調
してきました。自治体の運営に
営利企業の経営論理を持ち込む
やり方に同調するものではありませんが、市長が経営感覚を掲
げて市政に登場した当初の姿勢
に照らしても、現在の市政は経
営感覚から余りにもかけ離れて
います。環境に優しいまちにも
一言触れておきます。環境では、
幾つかの分野で市民の運動と職
員の努力が合わさって一定の成
果を上げていることも承知して
いますが、今、市内各地で起き
ている開発問題に対する市の対
応を見ると、この住民の皆さん
の抗議の横断幕は、環境に優し
いまちを掲げる市の実態をする
べく告発していると思います。
以上、市長が掲げた三枚看板を
物差しにして、今年度予算に対
する会派意見とします。

清 流
・
ネッ

ごみ指定袋売上分は市民の努力
が形となる 特定財源化の検討を

新年度予算は市長選挙を控え
て、予備費を例年の3千万円で
はなく3億円としたものです
はなくて3億円としたものです
議員必携によると4月に市長選
挙がある場合は骨格予算とする
のが望ましいとあります。新規
事業などは、できるだけ6月以
降の議会で補正予算または条例
として提案すべきと記載があり
だれもが反対しない新規事業は
別として、賛否の分かれること
が予想される場合は、取扱いを
慎重にすべきです。ふるさと博
物館や新選組関連の事業の取扱
いは、日野市の大きな政策転換
となるため、清流・ネットとし
て悩んだ事例でした。予算委員
会では、市長からはよく話し
合ってきたし、これからも関係
者と話し合いを続けていくこと
が明言されたので、予算として

平成17年度一般会計予算に対する

各会派の総括意見

平成17年度一般会計予算に対する各会派の意見表明が3月28日に
本会議場で行われましたので、その意見の内容（要旨）を紹介しま
す。なお、無会派の議員からも意見表明がありました。下表は予算
案に対する会派の態度表明です。

○…賛成、×…反対

	自民クラブ	公明党	市民クラブ	日本共産党 日野市議会議員団	清流・ネット	無会派
原 案	○	○	○	×	○	○2人 ×3人
修正案	×	×	×	○	×	×2人 ○3人

〔修正案の内容〕歳入のうち使用料、繰入金の一部を減額するとと
もに、歳出の（仮称）新選組のふるさと歴史館関連経費及び総合体
育館の基本設計委託料を減額し、予備費に組み替える。

原案に賛成、修正案に反対の
立場で意見を申し上げます。
平成17年度予算は、前年度比
34億9千800万円の減で、減税補
てん債の減額分を除くと、実質
増額予算となっております。歳
入では、法人市民税は増加であ
るものの個人市民税は今年度も
減収見込みであり、固定資産税
も減収で、前年度比、約2億4
千400万円の減収であります。
経済見通しでは明るい兆しがあ
ると言われているものの、個
人的には厳しい経済状況であり、
個人消費は伸び悩んでいる状況
であります。また、中小企業に
とつてもまだまだ厳しく、設備
投資の状況が償却資産税の減額
にあらわれているものと推測し
ます。国の三位一体改革により、
国庫補助金では減額が多く、債
務の増傾向に不安があり、今
後も国・都の改革を見据えた返
済計画を立てなくてはならない

自 民
クラブ

第3次行財政改革では市民サー
ビス向上のために大胆な改革を

と思います。歳出では、今年度
も民生費が約11億6千700万円も
の増額であり、増える一方の民
生費の抑制を根本的に考え直す
必要があり、教育費では、前年
比1.9%の増額であり、新規事業
も多く評価したいと思えます。
平成16年度までの第1次、第2
次行財政改革では、改革、改善
すべき項目の95%をクリアでき
一定の成果があったものと思
います。この成果を踏まえ、第3
次行財政改革では、さらに大胆
な改革に挑んで頂きたいと思
います。第3次では行政のスリム
化だけでなく、行政サービス
を高め、市民サービスの向上を目
標にするということですので、
大いに期待をしております。平
成17年度予算が市民本位の、そ
して期待が持てる予算である
と思っています。

以上、自民クラブを代表して
の意見といたします。
平成17年度一般会計予算の修
正案に反対、原案に賛成する立
場を意見を申し上げます。
日野市の平成17年度一般会計
予算は4億4千300万円で、前年
度当初予算に比較して7.0%の減
となりましたが、前年度は減税
補てん債の借換え分としての46
億円が含まれており、実質は2.5
%増となっております。この財政
下の中で、このような行財政改
革遂行型予算を基調にした、安
心・安全のまちづくり、待機児
及び子育て・子育て不安ゼロ、
高齢者の待機者及び寝たきりゼ
ロ、小・中学校施設整備及び特
色ある学校づくりなどを緊急課
題、重点課題とした取り組みは
私も公明党の予算要望が随所
にちりばめられたものであり、
高く評価します。今後の市政
への要望として、さらなる待機
児ゼロに向けた取り組み、子育
て広場事業の拡大、小児医療の

公明党

子育て負担軽減のため、乳幼
児医療費助成のさらなる拡大を

充実などの対策強化を展開して
頂きたい。特に市立病院小児科
につきましては、会派としても
昨年の10月27日に小児科存続の
要請書を提出して、あらゆる手
だてを尽くして小児科を存続す
るよう強く要請活動を行ってま
いりました。今後、午前中の一
般外来、夜間の救急診療と従来
の体制に早く戻れるよう強く要
望しておきます。合わせて、子
育ての負担軽減として、乳幼児
医療費助成に関しても、今後さ
らに拡大して頂きますようお願い
いたします。今後、まだまだ厳し
い財政運営が続いていくことが
予測される中、決してひるむこ
となく、さらなる挑戦をして頂
き、多様な市民ニーズに対応し
時代の変化を先取りできる市政
運営、これからも明るく前向き
な市政運営に取り組んで頂きた
いことを申し上げて、意見とし
ます。

一般質問



定例会では、市政全般について一般質問が行われます。今定例会では、3月3日から9日までの5日間にわたり行われ、22名の議員から34件の質問があり、行政側の対応をいただきました。掲載内容は、それを要約したものです。(なお文中の注)については、用語解説をご参照ください。

詳しくは図書館、市政図書室にある会議録(5月下旬発行予定)、または日野市ホームページと市内公共施設に設置の市民向け情報端末機(パソコン)の会議録検索システム(5月下旬更新予定)でご覧いただけます。

奥野 倫子

(日本共産党日野市議会議員団)

利用者の声を反映した駐輪場の運営を

問1 全面有料化ということはあるのか。答1(まちづくり部参事) すべてを直ちに有料化する考えはありません。問2 実験的に無料にする考えはあるか。答2(まちづくり部参事) 難しいと考えています。介護保険制度を利用

者の立場から見直し、問題点の改善に自治体として何をすべきかを問う

問 介護予防を有効に行なうために、市はどのようなことができるかを問う

問 介護予防を有効に行なうために、市はどのようなことができるかを問う

問 介護予防を有効に行なうために、市はどのようなことができるかを問う

問 介護予防を有効に行なうために、市はどのようなことができるかを問う

問 介護予防を有効に行なうために、市はどのようなことができるかを問う

問 介護予防を有効に行なうために、市はどのようなことができるかを問う

問 介護予防を有効に行なうために、市はどのようなことができるかを問う

問 介護予防を有効に行なうために、市はどのようなことができるかを問う

問 介護予防を有効に行なうために、市はどのようなことができるかを問う

問 介護予防を有効に行なうために、市はどのようなことができるかを問う

問 介護予防を有効に行なうために、市はどのようなことができるかを問う

問 介護予防を有効に行なうために、市はどのようなことができるかを問う

問 介護予防を有効に行なうために、市はどのようなことができるかを問う

問 介護予防を有効に行なうために、市はどのようなことができるかを問う

問 介護予防を有効に行なうために、市はどのようなことができるかを問う

問 介護予防を有効に行なうために、市はどのようなことができるかを問う

問 介護予防を有効に行なうために、市はどのようなことができるかを問う

問 介護予防を有効に行なうために、市はどのようなことができるかを問う

問 介護予防を有効に行なうために、市はどのようなことができるかを問う

田原 茂

(公明党)

商店街振興策及び特色あるまちづくりに

問 日野市の持ち味、特に新選組をまちづくりに生かすべきでは。答(まちづくり部長) 日野宿本陣を中心とした甲州街道一帯の総合的な計画を検討しています。

問 日野市の持ち味、特に新選組をまちづくりに生かすべきでは。答(まちづくり部長) 日野宿本陣を中心とした甲州街道一帯の総合的な計画を検討しています。

問 日野市の持ち味、特に新選組をまちづくりに生かすべきでは。答(まちづくり部長) 日野宿本陣を中心とした甲州街道一帯の総合的な計画を検討しています。

問 日野市の持ち味、特に新選組をまちづくりに生かすべきでは。答(まちづくり部長) 日野宿本陣を中心とした甲州街道一帯の総合的な計画を検討しています。

問 日野市の持ち味、特に新選組をまちづくりに生かすべきでは。答(まちづくり部長) 日野宿本陣を中心とした甲州街道一帯の総合的な計画を検討しています。

問 日野市の持ち味、特に新選組をまちづくりに生かすべきでは。答(まちづくり部長) 日野宿本陣を中心とした甲州街道一帯の総合的な計画を検討しています。

竹ノ上 武俊

(日本共産党日野市議会議員団)

杉野学園校地の開発許可は安易に過ぎた。住環境破壊・自然破壊について市は責任をとるべきではないかと問う

問1 工事用大型車両通行による振動や水害問題など、住民が不安を抱えている問題の解消について問う。答1(まちづくり部長) 事業者への一層の指導と安全確認を要請します。問2 用地買戻しの意向について問う。答2(総務部長) 売却条件等を含め、買取り協議をしていきます。

「憲法9条を守る立場に立つ」と自治体の長として明言できるかと問う

問 憲法改正についての考えを問う。答(市長) 守った方がいいという認識です。

小山 良悟

(自民クラブ)

市財政に貢献できる観光都市をめざして、平成12年条例第40号の改正を求める

問 観光都市をめざすために、ガムの吐き捨てや落書きに対する市民への意識高揚の取り組みについて問う。答(環境共生部長) わかりやすい表現で市民の方を誘うつもりです。問 市長会での取り組みについて問う。答(市長) 首都高については、三多摩の税金も使われており、市長会でも常々強い要望として、毎年度予算要望のときにお願いをしています。

中央高速道高井戸八王子間の料金撤廃を各機関全力を挙げて取り組み、必ず実現させよう!

佐瀬 昭二郎

(無党派)

ふるさと博物館、郷土資料館、新選組ふるさと歴史館について

問1 ふるさと博物館が持っている機能が高幡台に移っても維持できるのかを問う。答(市長) 首都高については、三多摩の税金も使われており、市長会でも常々強い要望として、毎年度予算要望のときにお願いをしています。

沢田 研二

(市民クラブ)

馬場市政8年間の成果と、これからの夢・めざす街づくりを問う

問1 日野市政40年を振り返って、誇りと感じていること、その中の8年間のヒット商品について問う。答1(市長) 誇りに思うことは、図書館のすばらしさ、水と緑をしっかりと守る対応をしてきたこと、国・都とのつながりが回復したことなどであり、ヒット商品については、ごみ改革、新選組フェスタなどが大きな成果だと思っています。

渡辺 眞

(無党派)

「市民参画」を検証する

問1 参画者の選抜方法に問題はないか。答1(企画部長) 市民とのパートナーシップのもと、公募による全員参加を基本としています。問2 自治基本条例、市民参画条例制定を問う。答2(企画部長) 今までの実現事例を踏まえて検討していきます。

反日反戦教科書から、我が国への愛情をはぐくむ教科書へ

森田 美津雄

(無党派)

少子化対策として、日野からインパクトがある施策の発信を!

問1 現状や原因・背景をどう把握しているのか。答1(子ども部長) 日野市の平成15年度の合計特殊出生率はほぼ全国平均に近いので、この時期に手を打たなければならぬと考えています。

江口 和雄

(市民クラブ)

安全・安心のまちづくり、みんなが歩ける道づくり、そして歩くことのすばしさを問う

問1 子どもの安全を図るため、防犯等の情報を共有化することは可能か。答1(教育部長) サイバー日野の協力で、メール配信希望の保護者に対して不審者情報の提供を試み推進していきます。

佐藤 洋二

(無会派)

西豊田駅誘致事業成就のための基金創設と予備調査の実現を

問1 日野市が中心となつて予備調査をやるべきと思うかどうか。

答1 (まちづくり部長) 協議会として実施していきたいと考えています。

問2 基金創設の考えはどの程度熟成されたか。

答2 (まちづくり部長) 予定しています。

馬場 賢司

(公明党)

子どもたちを守る安全対策の強化を—学校安全警備員(スクールガード)の配置を—

答(教育部長) 地域学校安全指導員制度の配置の状況を見きわめながら、今後の方向性を定めていきたいと考えています。

東町、万願荘地域が

秋山 薫

(市民クラブ)

ゴミゼロ施策の更なる推進について市の考えを問う(1)生ゴミの減量に向けた施策の進捗状況について

答(環境共生部長・まち

出沼 恵美子

(清流・ネット)

公園バリアフリー化促進事業を問う

問1 新年度工事の目玉は何か。

答1 (環境共生部長) ちばな公園にリハビリができる園路等の改良を予定しています。

問2 バリアフリー化工事の最終年はいつか。

答2 (環境共生部長) 平成20年度を最終年度に予定しています。

鈴木 勝豊

(市民クラブ)

安全で安心して暮らせる地域社会を目指して—災害に強いまちづくり—

問1 これまでの自然災害にどのような認識を持っているのかを問う。

答1 (総務部参事) 自助については、建物の耐震化と家具の転倒防止が重要であり、食糧備蓄・非常持ち出しの準備の必要を強調しています。

梅田 俊幸

(市民クラブ)

学校教科書採択について—より公正中立な採択を推進するために—

問1 昨年度教科書採択時における改善点を問う。

答1 (教育部参事) 教科委員会の調査研究日程の延長、審議会への市民の代表・指導主事の増など調査研究を充実させました。

夏井 明男

(公明党)

日野市の市民相談の現状と課題

問 今後の取り組みについて問う。

答(企画部長) 予約制になっていくので、緊急的な相談に対応できない部分については、検討していく必要があると思っています。

広報活動

名取 美佐子

(無会派)

子育て支援の充実を—ひのっすくすくプランについて—児童館の今後の役割について—市立病院小児科の救急体制について

問1 待機児が多くなった地域の対策を問う。

答1 (子ども部長) 民間の力をかりる姿勢を中心に展開していきたいと考えています。

古池 初美

(清流・ネット)

子どもの視線で更なる安全対策を!

問 検討課題の点検とその後の安全対策は。

答(教育部長) 各学校では危機管理マニュアルに沿った防犯訓練を日常的に行い、年度当初には先生方の役割分担の確認など、温暖化対策の削減を進めています。

また、全小中学校に防犯カメラを設置し、警察の連携を強化していきます。

菅原 直志

(清流・ネット)

被害者支援策は進んだか—国の基本法制定を受けて

問1 被害者支援条例制定後の施策について問う。

答1 (総務部長) ホームページ掲載の準備など、市民に周知を図ります。

問2 国の基本法制定に対する市の見解を問う。

答2 (総務部長) 国の基本計画策定と合わせて

用語解説

(注1) ジェネリック医薬品…後発医薬品のこと。医療機関で処方される薬のうち、先発医薬品の特許が切れた後、臨床試験などを省略して認可され、他のメーカーから発売される、有効成分・品質・効き目が同じで、より安価な薬。
(注2) 業務受注登録制度…市の業務を受注する希望のある非営利活動団体(NPO)の登録制度。
(注3) 災害時要援護者…災害時に必要な情報を迅速かつ的確に把握し、自らを守るために安全な場所に避難するなど、適切な防災行動をとることが困難な人々。1人ぐらしや寝たきり等の高齢者、障害者、傷病者、妊産婦、乳幼児、外国人が考えられます。

市議会ホームページ 会議録の検索ができます

日野市のホームページから会議録の検索ができるようになりました。
検索ができる会議録は、本会議については平成11年第1回定例会から、常任委員会については平成11年3月15日開催分から、予算特別委員会及び決算特別委員会は平成11年から検索ができます。ご利用ください。
ご覧になるには、日野市のホームページのトップページ下段にある、市議会議事録検索をクリックしますと、会議録のホームページにジャンプします。
また、市議会のホームページでは次の内容について

も掲載しております。
◎市議会の紹介(市議会の仕組み/市議会の仕事/市議会議員/市議会の開催/委員会/傍聴案内/請願・陳情の仕方)
◎データボックス(市議会議員名簿/会派の構成と所属議員/常任委員会名簿/議会運営委員会名簿/特別委員会名簿)
◎お知らせ(プチ★コンサートのご案内/定例会日程表/定例会一般質問通告一覧)
ホームページアドレス <http://www.city.hino.tokyo.jp/>

意見書

今定例会で可決した意見書の要旨は次のとおりです。また、可決した意見書は3月28日付けで関係機関に送付しました。
【乳幼児医療費助成制度の所得制限を撤廃し、対象を小学生以上に拡大することを求める意見書】
東京都でも23区は就学前乳幼児の医療費助成制度の所得制限はなくなり中学生までの医療費完全無料化を実施する自治体も生まれています。都の乳幼児医療費助成制度はすべてに所得制限があり、これを都がなくせば市町村でも就学前までの所得制限撤廃が可能になり、小学生以上にも助成制度の道が開けます。都が所得制限を撤廃し、対象を小学生以上に拡大することを求めるものです。
【意見書提出先】東京都知事

プチ・コンサートを6月1日に開催

平成17年第2回定例会の初日に、市議会本会議場でプチ・コンサートを開催します。お誘い合わせのうえご来場ください。

【日時】 6月1日(水) 午前10時から

【出演】 フォークローバース

【予定曲目】 ○通りゃんせ
○流浪の民
○トルコマーチ



ハーモニカの演奏を心ゆくまでご堪能を

今定例会で議決した議案

市長提出議案		
議案番号	件名	本会議結果
1	日野市立新選組のふるさと歴史館条例の制定について	原案可決
2	日野市新選組関連資料収集基金条例の制定について	原案可決
3	日野市立乗鞍高原日野山荘設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
4	日野市表彰条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
5	日野市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
6	日野市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について	原案可決
7	日野市一般職の職員の給料月額等の特例に関する条例の制定について	原案可決
8	日野市職員の退職手当支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
9	日野市立福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
10	日野市ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
11	日野市乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
12	平成16年度日野市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
13	平成16年度日野市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
14	平成16年度日野市土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
15	平成16年度日野市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
16	平成16年度日野市受託水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
17	平成16年度日野市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
18	平成16年度日野市立病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決
19	平成17年度日野市一般会計予算	原案可決
20	平成17年度日野市国民健康保険特別会計予算	原案可決
21	平成17年度日野市土地区画整理事業特別会計予算	原案可決
22	平成17年度日野市下水道事業特別会計予算	原案可決
23	平成17年度日野市受託水道事業特別会計予算	原案可決
24	平成17年度日野市老人保健特別会計予算	原案可決
25	平成17年度日野市介護保険特別会計予算	原案可決
26	平成17年度日野市立病院事業会計予算	原案可決
27	日野都市計画事業東町土地区画整理事業に関する業務委託契約の締結について	原案可決
28	東京都市公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び東京都市公平委員会共同設置規約の変更について	原案可決
29	日野市立福祉支援センター条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
30	日野市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
31	日野市文化財保護条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
32	日野市ふるさと博物館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
33	日野市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
34	日野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

議員提出議案		
議案番号	件名	本会議結果
1	乳幼児医療費助成制度の所得制限を撤廃し、対象を小学生以上に拡大することを求める意見書	原案可決
2	現行の介護保険の利用料軽減措置を東京都として維持することを求める意見書	否決
3	「大増税路線」を中止するよう求める意見書	否決
4	東京都として「少人数学級」を実施するよう求める意見書	否決

請願・陳情の審議結果

採択

◎日野市債「野鳥とタヌキの森を守る市債」発行に関する陳情
【要旨】限りある斜面地の緑地が少しずつ失われつつあるなか、市がこれ

今定例会では、6件の請願・陳情が新たに提出され、それらを所管の常任委員会にそれぞれ付託しました。
各委員会では継続審査の11件と合わせ慎重な審査を行い、定例会最終日の本会議では、その審査結果を踏まえて審議を行いました。審議結果は次のとおりです。

◎市立病院の小児科外来と小児科夜間救急の早期再開を求める陳情
【要旨】日野のまちで安心して子育てができる環境を整えるために、一日でも早く医師を確保して市立病院の小児科外来を再開するよう、また、365日・24時間の対応ができるよう、小児科救急体制を整えることを求めるもの

【結論】全会一致の採択。

不採択

◎「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書の採択を求める陳情
◎「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書の採択を求める陳情
◎小中学校の整備と教育予算の増額を求める請願
◎日野市で少人数学級の

◎横田基地の軍民共用化に反対する意見書提出を求める請願
◎「東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合」情報公開条例制定を求める意見書」提出に関する陳情
◎「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書の採択を求める陳情
◎日野市で少人数学級の

◎横田基地の軍民共用化に反対する意見書提出を求める請願
◎「東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合」情報公開条例制定を求める意見書」提出に関する陳情
◎「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書の採択を求める陳情
◎日野市で少人数学級の

【結論】全会一致の採択。

継続

◎多摩平処理場跡地(黒川地域広場)の再開発についての請願
◎高幡不動駅の改築に関する請願
◎日野都市計画事業西平山土地区画整理事業に関する請願
◎東京電力高幡不動変電所建設に関する請願
◎杉野グラウンド跡地の開発に伴う諸問題に関する陳情
◎杉野学園グラウンドの大規模開発に関する請願

◎多摩平処理場跡地(黒川地域広場)の再開発についての請願
◎高幡不動駅の改築に関する請願
◎日野都市計画事業西平山土地区画整理事業に関する請願
◎東京電力高幡不動変電所建設に関する請願
◎杉野グラウンド跡地の開発に伴う諸問題に関する陳情
◎杉野学園グラウンドの大規模開発に関する請願

◎多摩平処理場跡地(黒川地域広場)の再開発についての請願
◎高幡不動駅の改築に関する請願
◎日野都市計画事業西平山土地区画整理事業に関する請願
◎東京電力高幡不動変電所建設に関する請願
◎杉野グラウンド跡地の開発に伴う諸問題に関する陳情
◎杉野学園グラウンドの大規模開発に関する請願

◎日野市ふるさと博物館の改組に関する請願
◎杉野学園グラウンド跡地等の大規模開発に関する請願
◎必要に応じた福祉タクシー券の配布と使いやすしい制度にすることを求める陳情

市議会だよりの郵送サービス

新聞を購読されていない方等について市議会だよりの郵送サービスを行っています。ご利用に関しては無料です。ご要望の方がいらっしゃいましたら、お知らせください。

市議会



第12回

【会議の原則】
会議の原則は長い会議運営の積み重ねによって生じた共通のルールです。会議運営の慣習法、経験則でありこれを無視して会議を行うことは出来ません。ただし、会議原則であっても、法令がこれとことなる事項を規定しているときは、法令に従いますので、会議原則は適用されません。会議原則の一般的なものは次のとおりです。

- 会期不継続(各会期は独立しており、前後の会期はなんら関係を持たないこと)
- 会議公開(住民代表の機関である議会の審議状況を住民や報道関係者が自由に見聞できること)
- 定足数(会議を開き審議を進め、表決するときの最小限の出席議員数)日野市は13人。
- 過半数(議会が意思を決定するには半数プラス1人以上の賛成を要すること)
- 一事不再議(議会が一度議決した同一案件については同一会期中審議しないこと)
- 発言自由(議会において議員がなにもない拘束されず自由に発言できること)
- 議員平等(議会を構成する議員は平等)
- 一議事一議題(会議での審議は一議案ごとに行うこと)
- 討論交互(討論の持つ影響力から公平を期すために賛成、反対を交互に行うこと)
- 討論一回(同一議題について同一議員が1回だけ討論できること)
- 公正指導(議長は議員全体の代表者として中立公正な立場を堅持して指導に当たること)
- 委員会審査独立(委員会が審査するに当たって議長、本会議、他の委員会等から制約を受けないこと)



4月10日、多摩川の下流右岸河川敷で第5回「さくらの集い」が行われました。当日は晴天のなか多くの市民の方が集まり、お囃子を楽しんだり模擬店での買い物をしたり楽しい時間をすごしました。

ほっとグラフ



開花予想より、何日か遅れて桜が満開になりました。今年は、なかなか陽気も暖かくならず待ちどろしいが、つぼみつけた後は、あっという間に満開になりました。(写真は、根川の桜)